

見本

受験番号

※大学で記入

聖徳大学・聖徳大学短期大学部

令和6年度入学願書

写真欄

Web出願登録時に  
アップロードした  
受験票用の写真が  
反映されます

1.フリガナ		3.出身高校名	※該当するものを○で囲む。 都道 国都道府立 府県 県市私 学校
2.氏名			
4.趣味		5.生徒会活動・ 委員会活動等	
6.部活動・ボランティア 活動等	この入学願書は見本です。 出願の際は入学検定料を支払った後 にWeb出願ページより写真や一部 項目が反映された入学願書をダウン ロードしてください。		
7.高校での選手経 験・部活動等の 受賞等			
8.入学後の予定して いる住所(Web出 願登録時に入力 した内容が反映 されます)			

下記は該当者のみ記入してください。

* ① 志願者本人が、本学園の幼稚園・小学校に在籍していたことがあれば、記入してください。 卒業（園）または在籍していた学校名				年卒業	年～	年まで在籍
※複数ある場合は併記してください。						
* ② 近親者で本学卒業生・在学生在がいれば記入してください。						
氏名	卒業生の場合	科	年卒業			
本人との関係	在在学生の場合	科	年在学			

受付  
印

\* ① ② は合否判定には関係ありません。②において、本学卒業生・在学生在が母または祖母の場合、出願時の申請により香和会特待制度の対象となります。ただし、他の入試特待制度とは併用できません。詳細は入学試験要項を参照してください。

受験番号	※大学で記入
------	--------

## 志望理由書

フリガナ	
志願者氏名	

以下について、必ず志願者本人が記入してください。

### (1) 本学を志望した理由


### (2) 志望した学科(コース)を選んだ理由


### (3) 将来の夢と、その夢を選んだ理由


# 音楽学部総合型選抜実技試験／受験曲目申込書



フリガナ				※大学で記入
氏名				受験番号
フリガナ				
住所	〒			
電話番号	— —	生年月日	平成 年 月 日生	
出身高校名	国都道府立 学校 ( 科) 平成 年 月 卒業 県市私 令和 卒業見込			
●聖徳大学SOA音楽研究センターの<音楽実技認定>においてグレードを取得している人は必ず記入すること。 (記入がない場合、実技試験は免除されません) 認定番号 ( )				
受 験 曲 目 (下記記入例を参照のこと)				
A	いずれかに○をつける			
	声楽 ミュージカル(ヴォーカル) ピアノ 電子オルガン(機種: ) パイプオルガン 管弦打楽器(楽器名: )			
	曲目: <div style="text-align: right;">演奏時間 分</div>			
B	ミュージカル(ヴォーカル)はいずれかに○をつける ピアノ伴奏 ピアノ伴奏以外(音源の種類: )			
	いずれかに○をつける 作曲 編曲 (提出資料: )			
記入についての 注意事項	・ 作曲者名、曲目、調を記入すること。 【曲目記入例】 中田喜直：《夏の思い出》ニ長調 M.イエストン：ミュージカル《ファントム》より〈ここは私の場所〉 ・ 受験曲に作品番号がある場合はその番号を、多楽章形式では演奏する楽章を必ず明記のこと。 【曲目記入例】 L.v. ベートーヴェン：ピアノソナタ ヘ短調 Op.2-1 第1楽章 ・ 編曲された曲については編曲者名を記入すること。 【曲目記入例】 G.ミラー (聖徳花子 編曲)：ムーンライト・セレナーデ			

※裏面も記入すること

### 1. 得意とする分野と音楽学習歴

	分 野	学習期間
	作曲	( ) 年間
	声楽・ミュージカル	( ) 年間
	器楽 (楽器: )	( ) 年間
	その他 ( )	( ) 年間

- \*最も得意とする分野の左の空欄に○を記入してください。
- \*器楽の場合は楽器名を、その他の場合は必要な情報を記入してください。
- \*ダンス歴等がある場合はその他の欄に記入してください。
- \*音楽学習歴については、学習してきたものをすべて書いてください。

### 2. 音楽関係部活動歴

	クラブ名	コンクール等の活動実績
中学校		
高等学校		
部長経験	あり (中学校・高等学校) ・ なし	

### 3. コンクール歴

コンクール名	主催者・年度
種 別	成 績

- \*種別欄には、声楽、器楽 (演奏した楽器名)、ソロ、アンサンブルなどの区別を記入してください。
- \*部活動のコンクールについては、上の2の欄に記入してください。

### 4. 取得した資格 (演奏グレードなど)

認定団体	グレード名・級など	取得年月

### 5. 聖徳音楽グレードについて

聖徳音楽グレード取得の有無 有 ( a 級 ・ β 級 ) ・ 無  
 聖徳音楽グレードチャレンジの意思 有 ・ 無

\*チャレンジの意思のある方には詳細を連絡いたします。

### 6. 音楽学部広報活動に使用します。了承される方は師事した先生 (音楽科目) について記入してください。

期間	科目	先生のお名前	レッスン会場 (自宅、楽器店、学校等)
年 月 ~ 年 月			住所 TEL
年 月 ~ 年 月			住所 TEL

総合型選抜



小論文用原稿用紙

受験番号

※大学で記入

氏名

学科

下記の枠内に選択した小論文課題を記入。

令和 年 月 日

〈400字以内〉

Grid writing area for the essay response

HBあるいはBの鉛筆で記入のこと。

聖徳大学・聖徳大学短期大学部 令和6年度

〈前期型入試の志願者で希望者(該当資格保有者のみ)は提出〉  
 後期型入試(一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜)のみの  
 受験者は、本制度の申請はできません。

受験番号	※大学で記入
------	--------

# グローバル特待制度・資格特待制度適用申請書 Ⓜ

申請の種類 (該当する項目の□に、✓を記入してください。)

※必ず✓を記入すること

<input type="checkbox"/> 1. 前期型入試出願時に、グローバル特待制度・資格特待制度の該当資格を既に保有している人 → 出願時に、本用紙を提出してください。	
<input type="checkbox"/> 2. 前期型入試を受験後、グローバル特待制度・資格特待制度の該当資格を取得する予定の人 → <span style="background-color: #cccccc; padding: 2px;">出願時に、本用紙は提出できません。</span> 資格を取得後、指定された期間に提出してください。	
2. の方は前期型入試受験時の受験番号を記入	

資格の種類 (下記の該当する項目の□に、✓を記入してください。)

※必ず✓を記入すること

グローバル特待制度	
対象学部・学科	資格の名称・等級
全学部・全学科共通	<input type="checkbox"/> 実用英語技能検定(英検) 2級以上 <input type="checkbox"/> 実用英語技能検定(英検) 準2級 <input type="checkbox"/> TOEIC L&R+S&W 1150以上 <input type="checkbox"/> TOEIC L&R+S&W 625以上 <input type="checkbox"/> TOEFL iBT 42以上 <input type="checkbox"/> GTEC 960以上 <input type="checkbox"/> GTEC 690以上

資格特待制度			
対象学部・学科	資格の名称・等級		
全学部・全学科共通	<input type="checkbox"/> 日本漢字能力検定(漢検) 2級以上 <input type="checkbox"/> 日本漢字能力検定(漢検) 準2級		
教育学部 児童学科 教育学科 短期大学部 保育科 第一部 第二部	<input type="checkbox"/> 聖徳ピアノグレードα級 <input type="checkbox"/> 聖徳ピアノグレードβ級		
教育学部 児童学科 教育学科 心理・福祉学部 社会福祉学科 短期大学部 保育科 第一部 第二部	<input type="checkbox"/> カワイグレードテスト(ピアノ) 8級以上 <input type="checkbox"/> カワイグレードテスト(ピアノ) 9級 <input type="checkbox"/> ヤマハグレード(ピアノ) 8級以上 <input type="checkbox"/> ヤマハグレード(ピアノ) 9級 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: none; padding: 2px;">ピティナ(全日本ピアノ指導者協会) ピアノコンペティション ソロ部門 地区予選優秀賞取得者(地区本選進出者)</td> <td style="border: none; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> C級以上  <input type="checkbox"/> B級           </td> </tr> </table>	ピティナ(全日本ピアノ指導者協会) ピアノコンペティション ソロ部門 地区予選優秀賞取得者(地区本選進出者)	<input type="checkbox"/> C級以上 <input type="checkbox"/> B級
ピティナ(全日本ピアノ指導者協会) ピアノコンペティション ソロ部門 地区予選優秀賞取得者(地区本選進出者)	<input type="checkbox"/> C級以上 <input type="checkbox"/> B級		
文学部 文学科	<input type="checkbox"/> 全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定(全商簿記) 1級 <input type="checkbox"/> 全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定(全商簿記) 2級 <input type="checkbox"/> 日本商工会議所および各地商工会議所主催 簿記検定試験(日商簿記) 2級以上 <input type="checkbox"/> 日本商工会議所および各地商工会議所主催 簿記検定試験(日商簿記) 3級 <input type="checkbox"/> 全国商業高等学校協会主催 情報処理検定(全商情報処理) 1級 <input type="checkbox"/> 全国商業高等学校協会主催 情報処理検定(全商情報処理) 2級		
音楽学部 音楽学科	<input type="checkbox"/> 聖徳音楽グレードα級 <input type="checkbox"/> 聖徳音楽グレードβ級		

フリガナ		入試区分	
志願者氏名		(例: 総合型選抜A日程)	

※ うら面の証明書等の必要書類を確認し、同封してください。

グローバル特待制度・資格特待制度の適用を希望する場合、おもて面の申請書を記入し、下記の書類のコピーを同封すること。

対象学部・学科	資格の名称・等級	同封する書類(コピー)
全学部・全学科共通	実用英語技能検定(英検) 2級以上	合格証明書 または 合格証書
	実用英語技能検定(英検) 準2級	
	日本漢字能力検定(漢検) 2級以上	
	日本漢字能力検定(漢検) 準2級	
	TOEIC L&R+S&W 1150以上	Official Score Certificate (公式認定証)
	TOEIC L&R+S&W 625以上	
	TOEFL iBT 42以上	Test Taker Score Report または Examinee Score Report
	GTEC 960以上	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
GTEC 690以上		
教育学部 児童学科 教育学科 短期大学部 保育科 第一部 第二部	聖徳ピアノグレード $\alpha$ 級	グレード認定証
	聖徳ピアノグレード $\beta$ 級	
教育学部 児童学科 教育学科 心理・福祉学部 社会福祉学科 短期大学部 保育科 第一部 第二部	カワイグレードテスト(ピアノ) 8級以上	グレード認定証
	カワイグレードテスト(ピアノ) 9級	
	ヤマハグレード(ピアノ) 8級以上	合格証書
	ヤマハグレード(ピアノ) 9級	
	ピティナ(全日本ピアノ指導者協会) ピアノコンペティション ソロ部門 地区予選優秀賞取得者 (地区本選進出者)	C級以上
	B級	
文学部 文学科	全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定(全商簿記) 1級	合格証明書 または 合格証書
	全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定(全商簿記) 2級	
	日本商工会議所および各地商工会議所主催 簿記検定試験(日商簿記) 2級以上	
	日本商工会議所および各地商工会議所主催 簿記検定試験(日商簿記) 3級	
	全国商業高等学校協会主催 情報処理検定(全商情報処理) 1級	
	全国商業高等学校協会主催 情報処理検定(全商情報処理) 2級	
音楽学部 音楽学科	聖徳音楽グレード $\alpha$ 級	グレード認定証
	聖徳音楽グレード $\beta$ 級	

※ 本申請書及び添付資料は、本制度の採否判定以外には一切使用いたしません。また、採否、合否の如何を問わず返却いたしません。

受験番号	※大学で記入
------	--------

## 探究活動報告書

在籍校名	志願者氏名

あなたが高校でおこなった探究活動について、以下の項目に沿って書きなさい。

### 1. これまでの研究概要

論題：
・上記の論題を設定したきっかけ
-----
-----
-----
-----
・先行研究／使用文献
先行研究：
-----
-----
-----
使用文献：
-----
-----
-----

### 2. これまでの研究調査について

調査方法（実験・アンケート・文献比較・インタビュー・フィールドワーク）
-----
-----
-----
-----
-----
これまでの調査を実施して見えてきた課題（テーマ設定・情報収集・調査方法・調査結果の分析など）
-----
-----
-----
-----

裏面に続く⇒



### 3. 今後、卒業研究で取り組むテーマ

これまでの課題をふまえておこなう調査、または、さらなる根拠を集める調査
調査方法（実験・アンケート・文献比較・インタビュー・フィールドワーク）
その調査をおこなう理由